

お客様 各位

メンテナンスマニュアルのご利用について

- 本メンテナンスマニュアルを利用しての修理や調整に伴う事故や破損、またはそれに伴う損害請求や第三者からの賠償請求については、当社は一切の責任を負いかねますのでご了承ください。
- このメンテナンスマニュアルは難易度の順に☆、☆☆、☆☆☆に区分されており、☆の数が多いほど、難易度が高くなります。難易度を参考にしながら、無理な修理を行わないようご注意ください。
- このメンテナンスマニュアルに記載の内容は、すべて株式会社ニチベイの該当商品についてのものです。他社商品のメンテナンスには使用できません。
- メンテナンスに必要な部品は、弊社製品を使用してください。

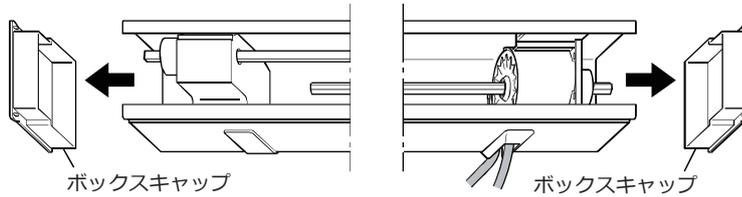


操作位置の変更方法

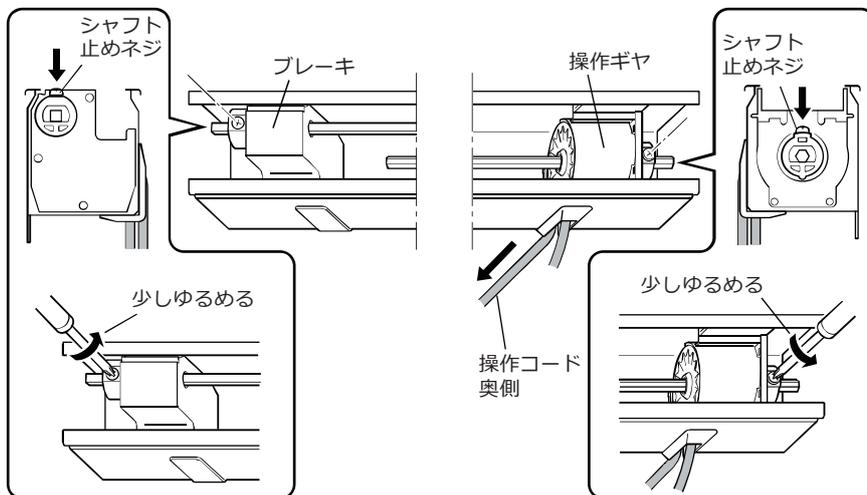
- 用意する部品：-----
- 用意する道具：プラスドライバー

●ここでは例として右操作→左操作に変更する手順についてご説明します。

① 左右のボックスキャップを取外します。



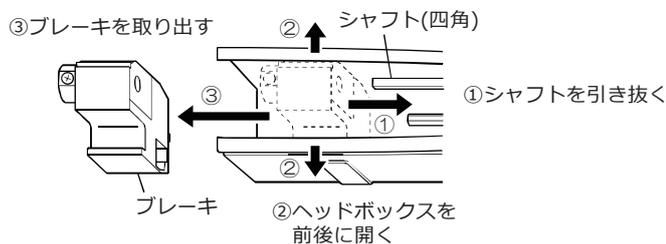
② 操作コード奥側を引き、スラット数枚分を下降させた後、手前側の操作コードを引いて停止させ、さらに操作ギヤ・ブレーキのそれぞれのシャフト止めのネジが上を向くよう調整し、それぞれのネジをゆるめてください。



③ ブレーキに挿入されているシャフト（四角）を操作側に引き、ブレーキより抜いてください。

※このとき、シャフトがドラムから抜けないように注意してください。

④ ヘッドボックスを開きながら、ブレーキを抜き取ってください。

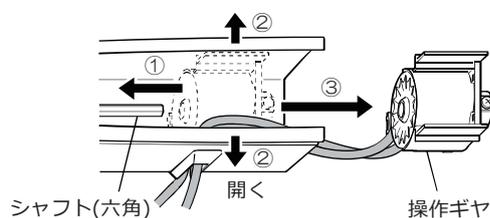


⑤ 操作ギヤに挿入されているシャフト（六角）を操作ギヤから反操作側に抜いてください。

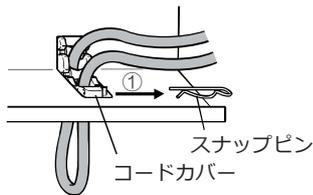
※このとき、シャフトがドラムから抜けよう注意してください。

※シャフトが抜きにくい場合は操作コードを上昇方向または下降方向に少しだけ引くと抜きやすくなります。

⑥ ヘッドボックスを開きながら操作ギヤを抜き取ってください。



- ⑦ コードカバーのスナップピンを横方向に抜き、コードカバーをヘッドボックスの正面側より外してください。



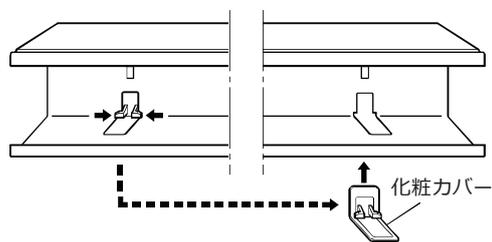
- ⑧ コードカバーのローラー（上側）を操作コードごと引き抜いてください。



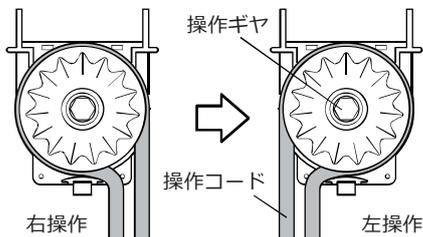
- ⑨ 反操作側の化粧カバーの裏側ツメ部をつまみながらヘッドボックスの正面側より取外してください。

- ⑩ 化粧カバーをヘッドボックスの新たな反操作側の化粧カバー取付け穴に差し込み固定してください。

※化粧カバーのツメ部でヘッドボックスに確実に止まるまで差し込んでください。

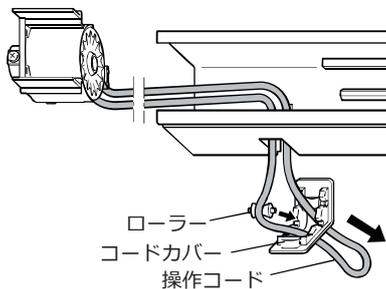


- ⑪ 操作ギヤを 180 度回転させ、操作ギヤ下部に掛かっている操作コードを操作ギヤから外し、反対側から操作コードを操作ギヤ下部に掛けてください。

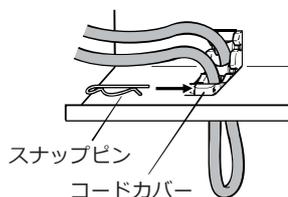


- ⑫ 操作コードをヘッドボックスの内側より新たな操作側のコードカバー取付け穴とコードカバーに通し、ローラーを操作コード（手前・奥）の間になるようコードカバーに組み込んでください。

※ローラーは操作コードの手前側・奥側のコード位置を間違わないように組み込んでください。



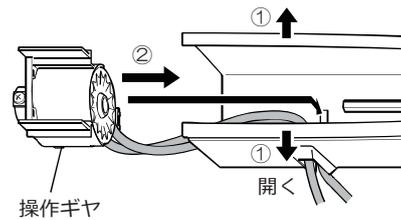
- ⑬ コードカバーをヘッドボックス正面側より差し込んでいる込み、スナップピンを横から差し込み固定してください。



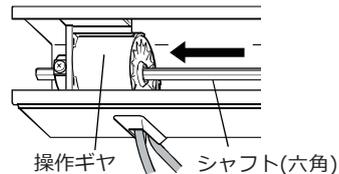
- ⑭ 操作コードをヘッドボックス正面側より引き出し、ヘッドボックスの上部を開きながら操作ギヤを組み込んでください。

※組み込みの際、操作ギヤ下部の突起がヘッドボックス下部の穴にはまっていることを確認してください。

※ヘッドボックス上部に操作ギヤがしっかりとまっていることを確認してください。

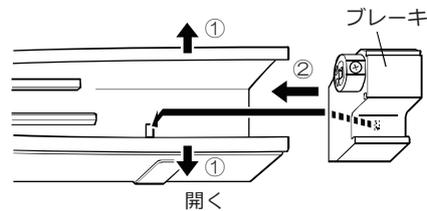


- ⑮ シャフト(六角)を操作ギヤの穴位置と合わせて挿入してください。

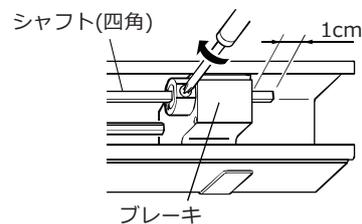


- ⑯ ヘッドボックスの上部を開きながらブレーキを組み込んでください。

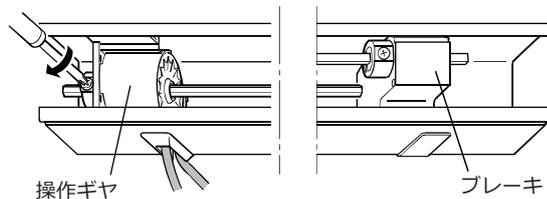
※組み込みの際、ブレーキ下部の突起がヘッドボックス下部の穴にはまっていることを確認してください。



- ⑰ シャフト(四角)をブレーキの穴位置に合わせて挿入し、端部から1cm程度突出するまで差し込み、シャフト止めのネジで固定してください。



- ⑱ 操作ギヤに挿入されたシャフト位置を、ブレーキやボックスキャップに触れない位置に合わせてシャフト止めのネジで固定してください。



- ⑲ 左右のボックスキャップをヘッドボックスに取付けてください。

